

第27回 内部監査と監査役等の連携についての研修会

内部監査からみた監査役との連携のあり方

～企業価値向上に資する「真の連携」が本当にできていますか？～

対面開催



研修概要

「内部監査と監査役の連携」の重要性は、論をまたない昨今、実務では「情報の分断」や「形式的な報告」に留まっているケースが少なくありません。本研修では、実務家3名が登壇し、内部監査の機能の最大化に向けて「監査役との連携」をどのように活用していくのかという目線で「真の連携」への道筋を議論し、自社の最適解となる連携イメージを持っていただく事を目的としています。



開催日時

2026年3月30日(月) 13:00 ~ 17:00

※当日は12:30より開場いたします



講義時間

4時間



申込締切日

2026年3月24日(火) 16:00まで

この日時以降のキャンセルは承れません。
 恐縮ながら参加費を全額お支払いいただきます



開催形式

対面開催

会場：MEETING SPACE AP浜松町 ROOM A ([会場HP](#))
 〒105-0011 東京都港区芝公園2-4-1 芝パークビルB館 B1F



定員

対面参加：50名(申込先着順締切)

※2026年度中に、本研修会の「第1部 講義形式」部分のみを収録した動画を用いて、オンデマンド配信によるオンライン開催を別途予定しております。
 そちらは開催日時が決まり次第、改めて協会HP等でご案内・募集開始いたします。



研修費

正会員／個人会員 ￥17,600 -(1名 消費税込)

非会員 ￥22,000 -(1名 消費税込)

研修開始日前日までに指定口座にお振込みください。

講義形式：2部構成

1部：講義形式

講師陣が、経験を踏まえた実例や見解を解説します。

2部：座談会形式

参加者からあらかじめ内部監査と監査役の連携について関心の高い事項を募り、講師陣がその中からテーマを選定し見解を解説、その後講師・参加者相互のディスカッションを予定しております。

※ 関心のある事項がございましたら事前にお知らせください。

提出期限：第1次締切 3月24日（火）まで

（可能な限りこの締切日までにお知らせください。詳細後述）

3名の講師による経験値を踏まえた勘所を解説

ディスカッションで論点を掘り下げ

関心事項について双方向で論議・意見交換

自社にとって連携の最適解をイメージし、内部監査の高度化に向けた実践につなげる

講師プロフィール

塩見 之郎 氏

CIA、中小企業診断士、僧侶

富士ゼロックス株式会社（現富士フイルムビジネスソリューション株式会社）において、マーケティング、コーポレートベンチャー（新規事業）の経営支援業務に従事後、内部監査人、同社グループ企業の常勤監査役を経験。その後、IPO準備企業の常勤監査役を歴任。現在は、ミート株式会社常勤監査役、株式会社ユニメディア監査役。僧侶として、師僧のお寺を手伝い修行中。

石田 誠一 氏

CIA

あいおいニッセイ同和損害保険株式会社において、15年間の営業経験の後、経営企画、リスク管理、人事等の主要な2線機能に17年間従事、出向先であるMS&ADインシュアランスグループホールディングス株式会社においては、総合企画、内部監査に従事。現在は、AIスタートアップの一人内部監査として、内部監査体制を構築、内部監査業務を担っている。

鈴木 圭 氏

CIA、CISA、CFE

西武グループにおいて、営業、企画、広報・宣伝、経理・財務、事業所勤務等、様々な業務に従事。また、西武ホールディングス内部監査部門にて5年間勤務。総合メディカル株式会社では、内部監査体制の再整備を中心に、部門長として活動。現在は、キャディ株式会社において内部監査体制の構築や、ガバナンス体制の在り方を検討している。

プログラム詳細

<第1部>

Part 1: オープニング — 連携の現状を自問する

監査役との「真の連携」について見つめなおすアプローチ：まず、自社の連携の現状を振り返る。

15分

Part 2: 「真の連携」を描くために必要なことは何か？

最大のポイントはゴールの共有：内部監査の目的や、監査役の役割を理解し、「真の連携」の考え方をあらためて考える。

15分

Part 3: ケーススタディ 講師陣の経験値を踏まえた監査役との連携のポイント

※ 講義の進行の都合上、下記のテーマからピックアップして実施する
可能性があることをご了承ください。

100分

01

企業での信頼構築

現場情報の「翻訳」：現場の生々しい課題を、監査役が経営判断に活かせる「リスク情報」へと丁寧に翻訳し、共有する実務プロセス。信頼醸成のためのコミュニケーション術。

02

「Sync-Governance」(シンクロ・ガバナンス)

監査役・内部監査・管理部門・現場が「一つのチーム」として事業スピードに同期(シンクロ)し、リスク検知と課題解決をリアルタイムで回す、新しい連携のカタチ。

03

連携の最適解を紐解く設計パラメータは

連携の最適解：「真の連携」に向けた連携の最適解は、様々な要素が影響するため百社百通りであると考えられる。最適解を構成する設計変数(パラメータ)を掘り下げることで「真の連携」に向けたヒントに迫る。

04

「真の連携の目的「ゴール」の持ち方(共通か、共有か)

ゴール設定：そもそも連携は何のために行うのか。その目的は監査役と合致するものなのか、異なるものなのか。共有することの意味合いは何か。連携目的「ゴール」設定の考え方の一考察を解説。

05

内部監査と監査役の「真の連携」の第一歩は

両者の考え方：内部監査人と監査役を経験しているからこそ見える連携の姿。内部監査人と監査役の考え方や求めていること等を理解することが「真の連携」の第一歩となる。

06

「真の連携」は多様な特性の組合せだけで決まるものではない。その鍵はなにか？

連携の本質：組織の成熟度や経営者、内部監査人、監査役の方々を含めたステークホルダーの考え方に応じて連携のスタイルを模索していく。それを見極める鍵となるものに迫る。

Part 4: まとめ ～明日からの実践～

30分

「真の連携」の姿は、企業の特徴(ガバナンス構造、組織の役割、人の属性など)によって、百社百通り、自社の最適な解に向け、自らで考えていく以外にない。

<第2部(ディスカッション)>

60分

選定したテーマ(参加者の関心事項から)に係る ディスカッション

※ 第2部ディスカッションに関するご注意 ※

第2部のディスカッションでは事前にご参加者から、内部監査と監査役の連携についてご関心の高い事項を募り、講師陣がその中から予めテーマを選定し、当日会場にて見解を解説し、参加者の皆様と相互のディスカッションをいたします。

そのため、関心のある事項・テーマがございましたらお申込み時もしくはお申込み後に協会までお知らせください。

テーマ提出先: moushikomi@iiajapan.com

ご提出期限: 第1次締切 3月24日(火)まで

※ 可能な限りこの締切日までにテーマをお知らせください

※研修資料は印刷したものを当日参加証と引き換えに会場にてお渡しいたします。

※研修内容や講師は、諸事情により予告なく変更となる場合がございます。あらかじめご了承ください。

※講義の進行の都合上、上記タイムスケジュールが変更になる場合や、講義時間が延長される場合があります。

※適宜休憩を挟みながら講義を行います。

※講義の録画・録音はご遠慮ください。

※スマートフォン等音の出る電子機器の電源はお切りいただくか、マナーモードに設定をお願いします。

なお、会場内での通話をご遠慮ください。

※キータッチ音が他の受講者の方の迷惑になりますので、講義中のパソコンの使用はご遠慮ください。

【CPE単位】「4.8CPE単位」が付与されます。

⇒“CPE単位”とは、CIA、CCSA、CFSAおよびCRMA資格等の継続的専門能力開発制度における認定単位です。

CPEを報告される方は、配信後日に自動送信される「受講確認メール(修了証)」を受講証明として3年間保存を お願いします。

なお、「受講確認メール(修了証)」の紛失に関しましては一切責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

○ お申込み方法 ○

※以下の記載事項をご了承いただいた方のみお申込みください。お申込みいただいた時点で
ご了承いただいたものいたします。

◆ **お申込みはメールでのみの受付とさせていただきます** ◆

【申込受付専用アドレス】 moushikomi@iiajapan.com

申込締切日:2026年3月24日(火)16:00

※この日時以降のキャンセルは承れません。恐縮ながら参加費を全額お支払いいただきます。

※録音・録画、配付資料の受講者以外の方への共有、SNS への講義情報のアップロードを禁止します。

- ①次ページにございます「必要事項」をご記入のうえ、上記アドレスまでメールにてお送りください。
- ②申込メールが到着次第、参加証・請求書をお送りいたします。
- ③請求書をご確認のうえ、研修日の前日までに指定口座にお振込みください。

- ✓ お申込みいただいた後、2週間を過ぎても当協会より参加証等が届かない、もしくはキャンセル待ちの連絡もない場合は、お手数ですがご連絡くださいますようお願い申し上げます。
- ✓ 研修資料は参加証と引換えにお渡しいたしますので、当日は必ず参加証をお持ちください。
- ✓ CPE 申告される方は終了後日に配信する「修了証メール」を受講証明として3年間保存をお願いいたします。配信期間終了後1週間までに「修了証メール」が届かない場合は、お手数ですがご連絡ください。

<必要事項>

- ・研修会名(メールの「件名」に研修会名「第27回内部監査と監査役等の連携についての研修会」をご記入ください)
- ・会社名
- ・所在地(〒から)
- ・電話番号
- ・部署・役職
- ・参加者氏名(フリガナ)「記入例:監査 太郎(カンサ タロウ)」
- ・受講者メールアドレス
 - ※複数名でお申込みの際はそれぞれの方のメールアドレスをご記入ください
 - ※メールアドレスのご記入は、お間違えのないようご注意ください
- ・会員区分・研修費
 - 正会員: ¥17,600 - (1名につき 消費税込)
 - 個人会員: ¥17,600 - (1名につき 消費税込)
 - ※個人会員でお申込みの方は請求書宛名(個人名または会社名)をご記入ください。
 - 非会員: ¥22,000 - (1名につき 消費税込)
- ・参加証・請求書送付先(部署・役職・氏名)
 - ※上記の項目は送付先と参加者が同じ場合、ご記入不要です。
- ・第2部<ディスカッション>時に取り扱いたい内部監査と監査役との連携に関するご関心事項・テーマ
- ・その他備考

◆ お申込みはメールでのみの受付とさせていただきます ◆
【申込受付専用アドレス】 moushikomi@iiajapan.com

【個人情報の取扱について】申込書にご記入いただいた個人情報は、当研修会の運営を推進するために使用することを目的とします。また法令に定める場合を除き、個人情報を事前に本人の同意を得ることなく、第三者に提供いたしません。